

研修だより

生徒一人ひとりが、達成感のもてる授業の創造

2016年11月8日

No. 3

小郡中学校 研修部

文責 宮川 聡美

2学期も授業研究会や授業公開を中心に研修を進める中で、先生方には積極的に研修に取り組んでいただいております。大変ありがたく感じています。第3回の授業研究会は台風による休校のため中止となり、ご準備いただいた先生方にはご迷惑をおかけいたしました。次はいよいよ授業力向上実践研修会になります。日頃の研修の成果を発表する場として、本校の取組を紹介できたらと思います。何かとご迷惑をおかけいたしますが、ご協力をよろしくお願いいたします。

★第2回授業研究会★

理科（重さ、体積と物質の区別） 1年1組 【9月21日】

授業者：中谷 善美 先生、 T2 宮野 義基 先生

目標：『「未知の物体」の密度は、どのように工夫して実験すれば、求められるか。』

ICTを駆使するのは勿論、たくさん教材を準備され、理解深化課題に重点を置く、子どもたちが真剣に考える姿が印象的な授業でした。

よかった点

説明（復習）：・パワーポイントによる説明で、ポイントが分かりやすい。

・説明が効率よく、時間の短縮となっていた。

理解確認：・ワークシートによる確認がよかった。

・時間がかかる生徒にT2がアドバイスをしていたよかった。

理解深化：・生徒が思わず考えたくなるような課題であった。

・生徒の発想を引き出せるよう、困難度も考慮した、用意周到な教材の準備であった。

・生徒が主体的に活動していた。

・ICTとT2が大活躍であった。

・課題が興味深く、全員が参加できた。

・グループ活動のよさを生かしたアクティブラーニングであった。

・T2がグループを回り、アドバイスや補佐を行っていた。映像などを撮ったり、映したり、T1一人では大変になるところを補っていた。

課題

理解確認：・ワークシートの課題が2分でやるには多かった。

・重要なポイントのみにするとよい。

・2分と時間制限を決めたら、守るようにするとよい。

理解深化：・5, 6人では多いのかな？

・一人一人が意見をしっかりと持てるとよい。

・電子黒板に映した映像での発表であったが生徒による発表も見なかった。実演など。(ホワイトボードに考えをしっかりとまとめていたので)



時間の確保が難しい理解深化課題に力点を置き、アクティブラーニングを意識した考え甲斐のある授業で、生徒も達成感を十分味わえたことだと思います。中谷先生は「電子黒板にホワイトボードを映したかった」とまとめのさらなる充実を目指しておられました。またT1、T2の連携も重要であり、課題であるそうです。研修会の最後に、工学院大学附属中の高橋一也先生が目指している学習者像を紹介しました。

①探究する人 ②考える人 ③信念をもつ人 ④思いやりのある人 ⑤バランスのとれた人 ⑥知識のある人 ⑦コミュニケーションができる人 ⑧心を開く人 ⑨挑戦する人 ⑩振り返りができる人

共同活動による理解深化課題に重点を置いた「教えて考えさせる授業」はこのような学習者像をすべて網羅していると考えます。そして今回の授業もこのような学習者を育てていると感じました。

これらの振り返りから
次回の授業改善の目標は

「探究心や挑戦する心を求める理解深化課題をめざそう」です。

★公開授業レポート September, October★

- ◎中川和人先生（「1次関数のグラフから式を求めることができるようになる」理科）タブレットや電子黒板を用い、グラフの提示が大変スムーズでした。提示の時間が短縮され、生徒の活動時間が十分とれていたと思います。
- ◎宮野先生（「心臓の仕組みから、血液の循環について説明しよう」理科）心臓の仕組みを理解させるための画像や資料を用意し、教材研究が十分なされていました。心臓の動画は生徒が興味深く見ていました。
- ◎石井先生（「中心からの角度が異なる2力を合成しよう」理科）復習や説明を手短にすませ、実験や2力を合成するなど、生徒の活動が多い授業でした。全員が実験に参加し、教えあいながら活動していました。
- ◎杉本先生（「バレーボール：簡易ラリーで、テンポ良くラリーが続けられる」保健体育）グループで基本的な練習をした後、ホワイトボードでしっかりと作戦などを考えたあと、実践に入り、より充実した試合内容になっていました。
- ◎中村将彰先生（「袈裟固めの技能を身に付ける」保健体育）グループで効率よく袈裟固めの練習をしていて、楽しくも充実した学習になっていました。振り返り活動も丁寧にされており、参考になりました。
- ◎河内先生（「ソフトボール：走塁ができるようになる」保健体育）球技が得意な生徒には、得意ではない生徒への送球などの配慮を促すなど、全員が楽しく安全に活動することを大切にしている授業でした。ホワイトボードを使ったポジションの説明も分かりやすかったです。
- ◎見好先生（「心情が相手に効果的に伝わるように、描写を工夫して書くことができる」国語）心情描写の文章をいかに作成していくか、電子黒板などで画像を見ながら表現を考えていくなど、とても分かりやすく楽しい授業でした。生徒の感想にも「班活動で自分の考えが言えた」「他の人の作文が参考になった」などがあり高い満足度であったとのことでした。随所で工夫が何え、ぜひ、全員で参観できたらよかったですと残念に思います。
- ◎野原先生（「巨大な人口をかかえる中国は、経済発展によってどのように変わっただろうか」社会）分かりやすい板書で、中国の経済政策の良し悪しについて生徒が一生懸命考えて、発表していました。
- ◎中村恭子先生（「ちがいのちがいを追求しよう」社会）基本的人権について、日常の事柄を用いて議論しながら楽しく学習していました。個性や文化の多様性による違いと、人権侵害に関わる違いに気付くことができました。
- ◎伊藤良次先生（「動物の生活のしかたや、体のつくり、脊椎動物のなかま分け」理科）テスト前ということもあり、復習をかねてプリントを用いながら、「教えて考えさせる授業」が組み立てられており参考になりました。確認を教師が行い、深化は生徒一人で問題を解き、考えるという内容でした。



2-5(保健体育)



3-2(社会)

2-2(国語)



第5回研修職員会 について

開催日 平成28年11月16日(水) 第4回授業研究会
5校時 数学(藤山先生) 15:25~ 研究協議
場所 1年5組 会議室(協議) ←変更です

※指導案検討会を、本日 11月8日 (16:30~) 校長室で行います。

